

# シンポジウム

5月26日(金)

シンポジウム1

がんゲノム診断

8:35~9:45 A会場(ステーションコンファレンス東京 5F 501AB)

座長: 国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科 成田 善孝  
北海道大学大学院 医学研究院 医学院病理学講座 腫瘍病理学教室 田中 伸哉

「がんゲノム情報管理センター(C-CAT)登録データから見る本邦の成人中枢神経系腫瘍974例の現状」

国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科 高橋 雅道

「当院における遺伝子パネル検査の運用と問題点について」

東京女子医科大学 脳神経外科 郡山 峻一

「がんゲノム情報管理センター(C-CAT)登録データから見る本邦の小児中枢神経系腫瘍430例の現状」

国立がん研究センター中央病院 小児腫瘍科 渡辺 祐子

「Diffuse midline gliomaに対するがんゲノムパネル検査」

京都大学 医学部 脳神経外科 峰晴 陽平

「日本人膠芽腫患者におけるチロシンキナーゼ受容体変異と臨床像」

鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 脳神経外科学 牧野隆太郎

「がん遺伝子パネル検査を用いた髄膜腫の解析」

藤田医科大学 医学部 脳神経外科 大場 茂生

## シンポジウム2

## 脳腫瘍のメチル化診断

## 英語発表

10:45~11:55 A会場 (ステーションコンファレンス東京 5F 501AB)

座長： 熊本大学大学院 生命科学研究部 脳神経外科学講座 武笠 晃丈  
 東京都立神経病院 検査科 神経病理 小森 隆司

「DNA methylation-based classification of meningioma and other tumor types」

Professor for Molecular Neuropathology  
 Institute of Neuropathology, Charité - Universitätsmedizin Berlin and  
 German Cancer Consortium (DKTK), partner site Berlin  
 David Capper

「診断困難症例に対するゲノムワイドメチル化解析の検討」

岡山大学大学院 脳神経外科 大谷 理浩

「中枢神経胚細胞腫におけるコピー数異常と予後との相関」

東京大学 医学部 脳神経外科 高見 浩数

「神経膠腫におけるMGMTの時間的動態についての検討」

弘前大学大学院 医学研究科 脳神経外科学講座 浅野研一郎

「悪性神経膠腫のメチオニン代謝から考えるメチル化解析の意味と問題点」

宮崎大学 医学部 臨床神経科学講座 脳神経外科学分野 横上 聖貴

## シンポジウム3

## 脳腫瘍中央診断体制の現状と課題

13:55~14:45 A会場 (ステーションコンファレンス東京 5F 501AB)

座長： 公立富岡総合病院 病理診断科 平戸 純子  
 神戸大学 未来医工学研究開発センター 村垣 善浩

「WHO2021に対応した in-house分子診断：先進医療体制における現状と課題」

大分大学 医学部 脳神経外科 秦 暢宏

「Private hospitalでのWHO第5版に準じた脳腫瘍診断：  
中央分子診断システムを利用することによる効果の検証」

聖隷浜松病院 脳神経外科／関西中枢神経腫瘍分子診断ネットワーク 川路 博史

「AYA世代の脳腫瘍の診断・治療：脳腫瘍中央診断の意義」

自治医科大学とちぎ子ども医療センター 小児脳神経外科 五味 玲

「上衣腫診断における困難さ」

北里大学 医学部 脳神経外科 隈部 俊宏

5月27日(土)

シンポジウム4

がんゲノム診断とバイオインフォマティクス

10:20~11:10 A会場(ステーションコンファレンス東京 5F 501AB)

座長: 国立がん研究センター研究所 脳腫瘍連携研究分野 鈴木 啓道  
北海道大学病院 先端診断技術開発センター  
臨床研究開発センター・研究開発推進部門 畑中佳奈子

「大規模全ゲノムおよびトランスクリプトーム解析によるGlioblastoma,  
IDH-wild typeの多様性の解明」

国立がん研究センター研究所 脳腫瘍連携研究分野/名古屋大学大学院 医学系研究科  
脳神経外科学 中島 拓真

「脳腫瘍とバイオインフォマティクス —臨床家にできること、できないこと—」

宮崎大学 医学部 臨床神経科学講座 脳神経外科学分野 横上 聖貴

「神経膠腫の統合分子病理診断のための自動レポートシステムの構築とバイオ  
インフォマティクスの重要性」

鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 病理学分野/鹿児島大学病院 腫瘍センター  
赤羽 俊章

「CGP検査でPGPVが複数認められたHigh Grade Gliomaの1例」

浜松医科大学 脳神経外科 小泉慎一郎

## シンポジウム5

### 脳腫瘍診断における liquid biopsy の可能性

14:10~15:10 A会場（ステーションコンファレンス東京 5F 501AB）

座長： 神戸大学大学院 医学研究科 外科系講座 脳神経外科学分野 篠山 隆司  
藤田医科大学 医学部 病理診断学講座 山田 勢至

「グリオーマおよび中枢神経悪性リンパ腫患者の髄液中炎症性マーカーと予後」

神戸大学 医学部 脳神経外科 篠山 隆司

「中枢神経再発を来すsystemic diffuse large B cell lymphomaは高率にMYD88  
変異を有する」

新潟大学脳研究所 脳神経外科 梶田 学

「中枢神経原発悪性リンパ腫における髄液、血液を用いたliquid biopsyの有用性」

名古屋大学大学院 医学系研究科 脳神経外科 大岡 史治

「Diffuse glioma における髄液 cell-free DNA を用いたMLPA法によるコピー数解析」

九州大学大学院 医学研究院 脳神経外科 尾辻 亮介

「光学異性体のメタボロミクスによるグリオーマ液性バイオマーカーの探索」

金沢大学附属病院 検査部 中出 祐介